

はまぐち誠 災害対策特別委員会 で質問に立つ！

皆さんの声を
国会に届ける！

〔熊本地震からの復旧・復興〕 ※自動車総連加盟労連・労組からヒアリングした内容を踏まえ質問。

はまぐち
誠の主張

- 地震により阿蘇大橋が崩落し、国道57号線が寸断された。
- 迂回路として、通称ミルクロード(片側1車線)を利用しているが、慢性的に渋滞が発生。
- ミルクロードは、故障車による通行止め事例あり。今後、積雪・凍結等により更なる悪影響も。



→国道57号線は、生活・通勤・産業として重要な幹線道路であり、地元からの要望も強い。早期復旧に向け、国の支援を強く望む！
→迂回路のミルクロードの早期強化とリスク対応も重要！

政府答弁 ○ソフト・ハード両面で、政府一丸となって、スピード感を持って取り組みたい。

〔首都直下地震の被害最小化に向けた対策〕 ※全体の取り組み状況を確認した上で、課題を掘り下げ。

<帰宅困難者対策>

はまぐち
誠の主張

- 都は通勤時間帯に発災した際、一時的避難必要者は約92万人と予測。
- 一時滞在施設として都や民間企業の施設等を計画するも、確保済は約26万人分のみ。
- 民間施設の自主的な受け入れ期待も、約7割の企業が受け入れ困難と回答。
- それは、民間施設内で起きた事故に対する賠償責任を懸念しているのではないか。

→有事の対応として、国が主導して対策を講じるべきではないか！

政府答弁 ○ガイドラインを策定し、施設管理者に責任を負わないことに署名を求めること等を示し、協力を促している。引き続き検討したい。



<感震ブレーカーの設置推進>

はまぐち
誠の主張

- 東日本大震災では火災の約7割が、停電から復旧して通電した際に、電気機器が火元になって出火するもの。
- 国は震度5強の揺れで電気を止める「感震ブレーカー」の設置を促すが、設置率は1%程度。
- 他方、ガスは各戸メーターに「感電遮断機能」が義務付けされている。

→対策を進めるために、設置の義務化や設置補助金などの措置が必要ではないか！

政府答弁 ○官民が連携して、普及に取り組んでいく。



はまぐち
誠の主張

→災害対策は、国土と国民の生命と財産を守る大変重要な取り組み。政府のリーダーシップに期待する！

※上記内容は一部です。是非、全体の様子は参議院インターネット中継(生・録画)をご覧ください。 → <http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

